



～一般の方もぜひご参加下さい～

ワーク・ライフ・バランスの実現による 次世代育成のための環境整備

企業とNPOの子育て支援協働推進セミナー in 東京

仕事と子育ての両立を実現し、親や子ども達がいきいきと暮らせる社会を創るためには、皆が協働して子育てを支えあうしくみ作りが大切です。本セミナーでは、企業や行政・NPOがそれぞれの立場でどのような役割を担い連携していけばよいか、参加者の皆様と共に考えて輪を広げていくきっかけとしたいと思います。

日 時 : 2008 年 7 月 30 日 (水)

14:30～19:30 (開場 14:00)

場 所 : 東京ウィメンズプラザ 東京都渋谷区神宮前 5-53-67

定 員 : 200名

参加費 : 無料

- 内 容 : ◆基調講演 「長時間労働からの脱出」
勝間 和代 氏 経済評論家 (兼公認会計士)
- ◆調査報告 「企業における仕事と子育ての両立支援に関する調査研究」
(財団法人こども未来財団 平成19年度児童関連サービス調査研究事業)
矢島 洋子 氏 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 株式会社 主任研究員
- ◆パネル・ディスカッション
「子育て支援における企業・行政・NPOのパートナーシップを考える」
- ◆交流会



主 催 / 財団法人こども未来財団

社団法人日本フィランソロピー協会

後 援 / 厚生労働省・社団法人日本経済団体連合会

(予 定) 社会福祉法人全国社会福祉協議会・東京都

東京都教育委員会・社会福祉法人東京都社会福祉協議会

東京経営者協会

協 力 / 子育て応援とうきょう会議

ワーク・ライフ・バランスの実現による次世代育成のための環境整備

開催にあたって

平成17年に次世代育成支援対策法が施行されてから3年が経過しました。これまでに、各企業や各地域において様々な取り組みが実践されて効果を上げてきています。昨今は、少子高齢化社会へ向けて、また、経済効率最優先の行き過ぎによる反省から、仕事と家庭の調和を図る「ワーク・ライフ・バランス」という考え方も注目を集めています。子育てをしやすい企業での働き方に関心が向けられるとともに、企業、地域住民、行政が一体となった子育て支援や子どもの健全育成に取り組む環境づくりが、企業にとっても個人にとっても、そして社会全体にとってもますます重要になってきております。そこで、ワーク・ライフ・バランスの実践や、企業と子育て支援に関わるNPOや行政が連携して子どもの健全育成に果たす役割を共に考える場として、本セミナーを企画いたしました。参加された皆様方が相互理解を深め、情報共有やネットワーキングを推進していくための一助となることを願っております。

プログラム

14:40-15:40

基調講演「長時間労働からの脱出」

勝 間 和 代 氏 経済評論家（兼公認会計士）

<プロフィール>

1968 年東京都生まれ。早稲田大学ファイナンス MBA、慶應義塾大学商学部卒業。当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得した後、外資系数社を経て、経済評論家として独立。

2005 年、ウォール・ストリート・ジャーナルから、「世界の最も注目すべき女性 50 人」に選ばれる。2006 年、エイボン女性大賞を史上最年少で受賞。三女の母。

著書に「お金は銀行に預けるな」(光文社)、「無理なく続けられる年収 10 倍アップ勉強法」(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、「効率が 10 倍アップする新・知的生産術」(ダイヤモンド社)など多数。



15:40-16:30

調査報告 「企業における仕事と子育ての両立支援に関する調査研究」

(財団法人こども未来財団 平成19年度児童関連サービス調査研究等事業)

矢 島 洋 子 氏 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員)



ワーク・ライフ・バランスの実現による次世代育成のための環境整備

16:40-18:40

パネル・ディスカッション：「子育て支援における企業・行政・NPOのパートナーシップを考える」

パネリスト

●磯野 美子 氏（日本電気株式会社 CSR推進本部 社会貢献室）

NEC中南米向け海外営業部門に入社後、青年海外協力隊に本社休職取得者第1号として参加。社会貢献室では社員のボランティア活動促進とライフプランに連動した社会貢献プログラムを企画推進している。主なプログラムである「NECワーキング・マザーサロン」は、働く女性のクオリティ・オブ・ライフ向上をサポートする、育児休職からの職場復帰支援セミナー。日本で初めて産後の女性の心と体のセルフケアプログラムを提供している NPO 法人マドレボニータ（美しい母）プロジェクトとの協働により、2007年度から実施している。

●堤 宏記 氏（シナノケンシ株式会社人事・総務グループグループマネージャー・シナノケンシスタッフサービス株式会社取締役）

長野県男女共同参画審議会委員、上田市子育てネットワーク協議会委員、上田市子育て家族応援事業実行委員会委員。シナノケンシ(株)は長野県上田市にある精密機器・福祉・健康関連の情報機器メーカー。子育て支援をはじめ男女共同参画、高齢者・障害者雇用促進の各分野で先進的な取り組みをし、地域のリーダーシップカンパニーである同社で中心的役割を果たす。NPO との協働事業では「子育て情報サイト」の運営や「父親向け育児講座」の開催等を行っている。

●新川 てるえ 氏（特定非営利活動法人 Wink 代表）

作家、コメンテーター、家族問題カウンセラー。東京都葛飾区で生まれ、千葉県柏市に育つ。10代でアイドルグループのメンバーとして芸能界にデビュー。その後、2度の結婚、離婚経験を生かし、1997年12月にインターネット上でシングルマザーのための情報サイト「母子家庭共和国」を主宰。2002年子どもの健全育成と家庭問題に悩んでいる女性の自立支援のためのNPO法人Winkを設立。シングルマザーのコレクティブハウス「マミー+ハウス」を運営中。

●雲雀 信子 氏（特定非営利活動法人 子育てサポーター・チャオ 理事）

越谷市男女共同参画プラン策定委員、こしがや男女共生のまちづくり推進市民会議委員を経て、1996年に子育て支援団体「チャオ」を設立。1999年から新越谷駅ビル内に「子育てサロン」が開設され、相談員を務める。2002年「子育てサポーター・チャオ」が埼玉県よりNPO法人の認証を受け、代表理事となる。2008年5月、代表理事を退任し理事となる。2007年度に、(株)NTTデータ経営研究所と協働で、文部科学省からの受託事業「父と子の愛着形成」に関する調査・研究を実施した。

コーディネーター

●榊原 智子 氏（読売新聞社東京本社 生活情報部記者）

上智大学大学院博士課程前期修了（国際関係論専攻）。1988年読売新聞社入社。調査研究本部、浦和支局（現・さいたま支局）、政治部、解説部を経て、2005年12月より現職。少子化や社会保障に関する記事、講演多数。

18:45-19:30

交流会（参加費 無料）

本年度の他の地域での開催予定

【大阪会場】 2008年9月26日（金） 大阪商工会議所（大阪市中央区本町橋）

基調講演：土堤内 昭雄 氏（株式会社ニッセイ基礎研究所 主任研究員）

【福岡会場】 2008年11月14日（金） エルガーラホール（福岡市中央区天神）

基調講演：佐々木 常夫 氏（株式会社東レ経営研究所 代表取締役社長）

申 込 書

参加申込書に記入の上、社団法人日本フィランソロピー協会
(FAX: 03-5205-7585)までお送りください。

■e-mail (tokyo@philanthropy.or.jp) もしくは日本フィランソロピー協会ホームページ
(http://www.philanthropy.or.jp) からもお申し込みできます。

企業とNPOの子育て支援協働推進セミナー in 東京 参加申込書

(ふりがな)	
お 名 前	
ご所属組織名	
部 署	
お 役 職	
ご 住 所	〒
交 流 会 (参加費無料)	参加 ・ 不参加
TEL / FAX	
E-Mail	
セミナーに 期待すること	

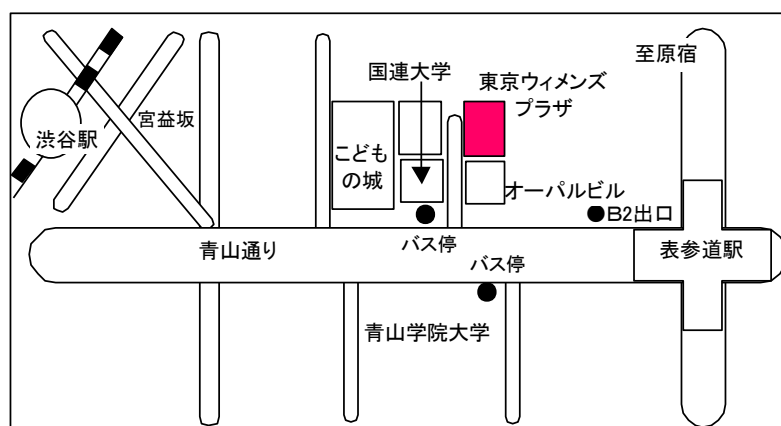
<会場案内>

東京ウィメンズプラザ

(東京都渋谷区神宮前5-53-67)

<交通のご案内>

- JR山手線・東急東横線
京王井の頭線: 渋谷駅より徒歩 12 分
- 地下鉄銀座線・半蔵門線
千代田線: 表参道駅より徒歩 7 分
- 都バス(渋 88 系統):
渋谷駅からバス 4 分
青山学院前バス停下車徒歩 2 分



<お問い合わせ>

社団法人日本フィランソロピー協会 事務局

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244 TEL.03-5205-7580 / FAX.03-5205-7585
URL: http://www.philanthropy.or.jp E-mail: office.1991@philanthropy.or.jp